

令和7年度（第49回）自衛消防活動審査会 資料

概要

1 実施日時

令和7年9月9日（火） 10時00分から13時00分まで（受付開始9時30分）

2 実施場所等

(1) 実施場所

新宿区立新宿中央公園 水の広場(新宿区西新宿2-11) (別図1)

(2) 会場図

別図2のとおり

3 審査区分等

種別等 審査区分	コース	種 別	参加隊の定義等	審査項目
内 栓 一 般	1	屋 内 消 火 栓	特になし（男女混成可） 指揮者・1番員・2番員	【共通】 ① 規律・態度 ② 初期消火 119番通報 放送要領 ③ 屋内消火栓操法
内 栓 警 備	2	屋 内 消 火 栓	警備業務員（男女混成可） 指揮者・1番員・2番員	
簡 易 一 般	3	簡 易 型 屋 内 消 火 栓	特になし（男女混成可） 指揮者・1番員	
簡 易 警 備		簡 易 型 屋 内 消 火 栓	警備業務員（男女混成可） 指揮者・1番員	

4 実施順序

抽選により決定した実施順序を後日、新宿消防署ホームページに掲載致します。

5 審査会中止の決定

雨天決行としますが、荒天等による中止の場合は、当日の午前7時00分に決定しますので、当日の午前7時30分以降に新宿消防署ホームページでの確認してください。なお、審査会の延期はありません。

6 その他

- (1) 審査会の円滑な進行のため、当日は係員の案内に従うようご協力をお願いします。
- (2) 見学する方も来場できますが、参加隊数が多く、スペースも限られることから、人数について配意願います。

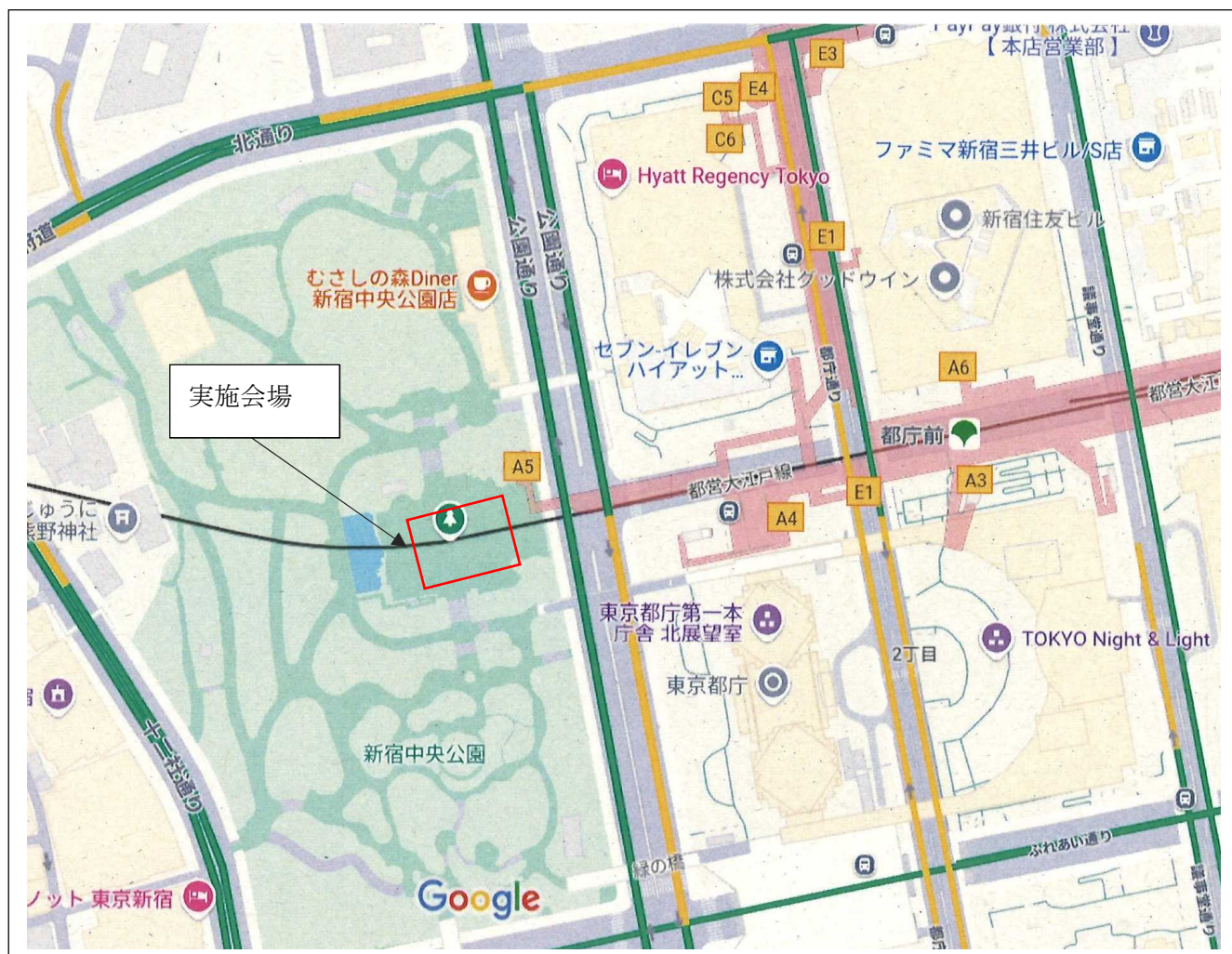
また、各見学者の方も熱中症予防対策をお願い致します。

- (3) 当日、急遽参加できなくなった場合は、午前7時00分までに新宿消防署へ電話で連絡してください。
- (4) 係員が危険と判断した場合は、審査中であっても行動を制止する場合があります。
- (5) 訓練開始前は必ず準備運動を行うとともに、こまめに水分をとり、怪我及び熱中症の防止に努めてください。
- (6) 審査会場及び公園の周辺には専用駐車場・駐輪場がありませんのでご了承ください。
また、更衣場所也没有ありませんので、事前に更衣を済ませて頂くようお願いします。
- (7) 本説明会の質疑に関する回答は、後日、新宿消防署ホームページに掲示します。

付近図

名称：新宿区立新宿中央公園 水の広場

所在：新宿区西新宿二丁目 1 1 番





Ω

当日の流れ

1 タイムスケジュール （※当日の審査進行状況により前後する可能性があります）

	時 間 経 過					
	9:30	10:00	12:15	12:35	13:00	
内 容	受付開始	審査開始	休憩	審査終了	表彰式・閉会式	終了・解散
		審査時間約2時間15分				

2 受付

審査会当日の受付は、9時30分から行います。

熱中症防止及び受付場所の混雑防止の観点から、実施順序が10番目以降の隊は、10時15分からの受付となります。

受付は代表1名がお願い致します。受付の際、パンフレット及び記念品等の手さげ袋（各参加隊ごとに1袋）をお受け取りください。また、受付後に資器材の準備等がありますので、時間に余裕をもってお越しください。

3 開会

開会式はございません。参加隊の整列の必要はありません。

4 審査会

開会（審査長による審査開始報告）がされた後、10時00分から審査を開始します。

各コース1、2番目に実施する隊は、受付終了後速やかに腕章の着用や屋内消火栓へのホース設定等、訓練を開始できる準備を済ませ、1番目の隊は仮想防災センターの椅子の右側の位置に立位で待機してください。会場内に随時、各隊の審査結果を掲示します。

5 表彰式及び閉会式

- 別図3の受賞隊整列位置に、テント、椅子の準備が完了後、アナウンスに従い、整列してください。

（熱中症予防の観点から、表彰隊のみ整列をお願い致します。）

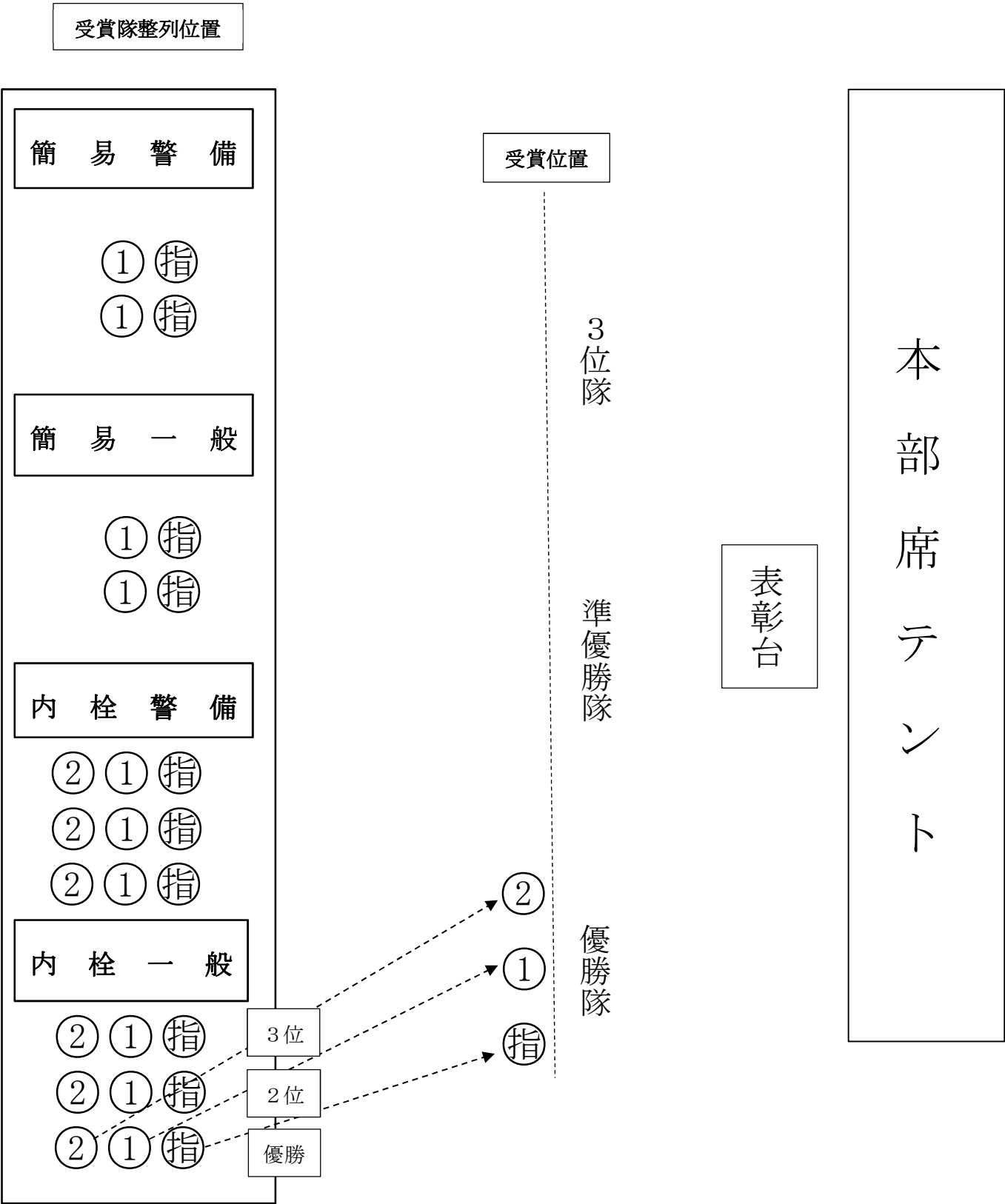
- 審査区分ごとに表彰します。

表彰式では、優勝隊には優勝カップ、表彰状及びメダルを、準優勝隊と3位隊には表彰状及びメダルを授与します。（表彰隊数は、内栓一般及び内栓警備が3隊、簡易一般及び簡易警備が2隊となります）

6 会場引揚

会場を引き上げる際は、所持品やホース、ノズル等の忘れ物、取り間違えに注意してください。

表彰式及び閉会式隊形



服装及び準備資器材等

1 服装

- (1) 激しい動作に適し、ホースやノズルなど搬送してもケガをしづらい服装（長袖、長ズボン及び運動靴等）とし、ヘルメット及び手袋を持参してください。
- (2) 雨天に際し、雨具（カッパ等）を着用することができますが、活動に支障をきたさない物（セパレートタイプ等）としてください。

2 屋内消火栓用ホース及びノズル（借用申請のあった事業所は除く）

- (1) ホース × 2本 （口径40mm、長さ15m）
規格外ホース、又は独自の長さに変更したホースの持込みはできません。
なお、簡易型への参加隊分は消防署で準備します。
- (2) 可変式噴霧ノズル × 1本

3 ホース漏水処理

内栓一般及び内栓警備の各2番員は、ホースの穴開きにより漏水した場合の応急処置として、タオル等を準備してください。なお、応急処置についても審査の対象となります。

（複数ヵ所漏水した場合は、1ヵ所応急処置をしてください。その他の漏水箇所は、審査の対象となりません）

4 その他

熱中症対策として、飲料水や保冷剤等の準備をお願いします。適宜、水分補給をしてください。

実施要領

1 審査項目

- (1) 訓練中の規律・士気
- (2) 火災発生時の放送、消火器を活用した初期消火及び119番通報要領
- (3) 屋内消火栓操法

2 実施準備及び撤収について

- (1) 内栓一般、内栓警備の部は、A、Bごとに2隊前の審査開始までに、ノズル、ホース、
を持参し、腕章を身に着けた状態で次隊準備位置（別図4及び12ページ参考資料参照）
に集合してください。

また、簡易一般、簡易警備の部は、2隊前の審査開始前までに腕章を身に着けた状態で次隊準備位置（別図5及び12ページ参考資料参照）に集合してください。

- (2) 屋内消火栓のホース設定は係員の案内に従い、必ず参加隊が実施してください。
- (3) 実施コース

ア 屋内消火栓（内栓一般、内栓警備）→ 別図4のとおり

イ 簡易型屋内消火栓（簡易一般、簡易警備）→ 別図5のとおり

※ 内栓一般と内栓警備は参加隊数が多いため、コース内でAとBに分け、Bを本部テント側とします。

※ 内栓一般と内栓警備の部は、操法終了後、別図2に示すホース撤収場所へ速やかに移動し、ホースを撤収し、係員に腕章を返却してください。

※ 簡易一般と簡易警備の部は、操法終了後、別図5に示す次隊待機位置横に設置する腕章回収箱に腕章を返却してください。

3 行動要領

別記1及び別記2のとおり

なお、別図4及び別図5の防災センター内の機器である非常放送、自動火災報知設備、電話機等は電源を入れないため、模擬での実施とします。

自動火災報知設備のベル鳴動や感知器の作動場所、電話機での通報等は、機器に明示するかその場で係員が指示・応答します。非常放送のマイクの拡声はされませんが、放送しているものとして行動してください。

4 審査内容

- (1) 訓練開始前の行動（規律・態度等）（各審査区分共通）

資器材等の準備が終了したら、仮想防災センターの座席右側に立位（ヘルメットと手袋を着装した状態とします。）で待機していますが、規律・態度等を審査します。

- (2) 火災発生時の放送及び消火器を活用した初期消火、119番通報要領

ア 屋内消火栓（3人操法）

係員の「ベル鳴動」の合図から、1番員の119番通報報告及び2番員の消火不能報告に対する「よし」までとし、指揮要領及び放送要領、初期消火要領、119番通報要領等について審査します。

イ 簡易型屋内消火栓（２人操法）

係員の「**ベル鳴動**」の合図から、１番員の避難誘導完了報告に対する「よし」までとし、指揮要領及び放送要領、初期消火要領、１１９番通報要領等について審査します。

(3) 屋内消火栓操法

活動審査

ア 屋内消火栓（３人操法）

指揮者の「**屋内消火栓による～操作はじめ**」から、点検報告の２番員に対する「よし」までとし、指揮要領、機器の取扱要領等について審査します。

イ 簡易型屋内消火栓（２人操法）

指揮者の「**屋内消火栓による～操作はじめ**」から、点検報告の１番員に対する「よし」までとし、指揮要領、機器の取扱要領等について審査します。

(4) 訓練実施中の「取り組み姿勢」及び「動作」に対する評価

全ての審査項目について、指揮者、１番員、２番員の訓練に対する姿勢（声の大きさ、明瞭など）及び動作（動き出しのタイミングやきびきびした動き、安全・確実性など）について審査します。

5 タイム審査

- (1) 係員の「**ベル鳴動**」の合図から、屋内消火栓操法により標的に命中するまでのタイムを測定します。基準タイムを１００点満点（それ以上早い場合も一律１００点）とし、遅い場合は徐々に減点となります。

(2) 予備送水の禁止

２番員が予備送水（簡易型屋内消火栓を除く。）を行った場合は、合計タイムに２０秒加算します。

※ **基準タイム** → **２分３０秒**（内栓一般、内栓警備）
→ **２分３０秒**（簡易一般、簡易警備）

※ 雨天時は、上記の基準タイムに＋２０秒します。（２分５０秒が１００点）となります。

※ **予備送水** → １番員が第２結合部まで延長し、「**放水始め**」の合図をする前に２番員が消火栓バルブを開放しておくことで、放水までの時間を短縮する行動のことを指します。
１番員が放水の体勢ができていない状態で、ホースに通水するため、ホースをコントロールできなくなり、危険です。

6 審査方式及び順位の決定方法

- (1) 審査は隊員ごとに原則減点方式とし、総得点の多い隊を上位とします。

なお、危険行為についても減点します。

<最大得点の積み上げイメージ>

【内栓】 総得点 = 指揮者 + 1 番員 + 2 番員 + タイム減点

【簡易】 総得点 = 指揮者 + 1 番員 + タイム減点

*基準タイムから5秒以内は－3点、10秒以内は－5点、20秒以内は－10点、30秒以内は－15点、40秒以内は－20点とします。

- (2) 同点時の順位決定方法

以下の順により決定します。

ア 指揮者の得点数の多いもの

イ 1 番員の得点数の多いもの

ウ 2 番員の得点数の多いもの（簡易型屋内消火栓を除く）

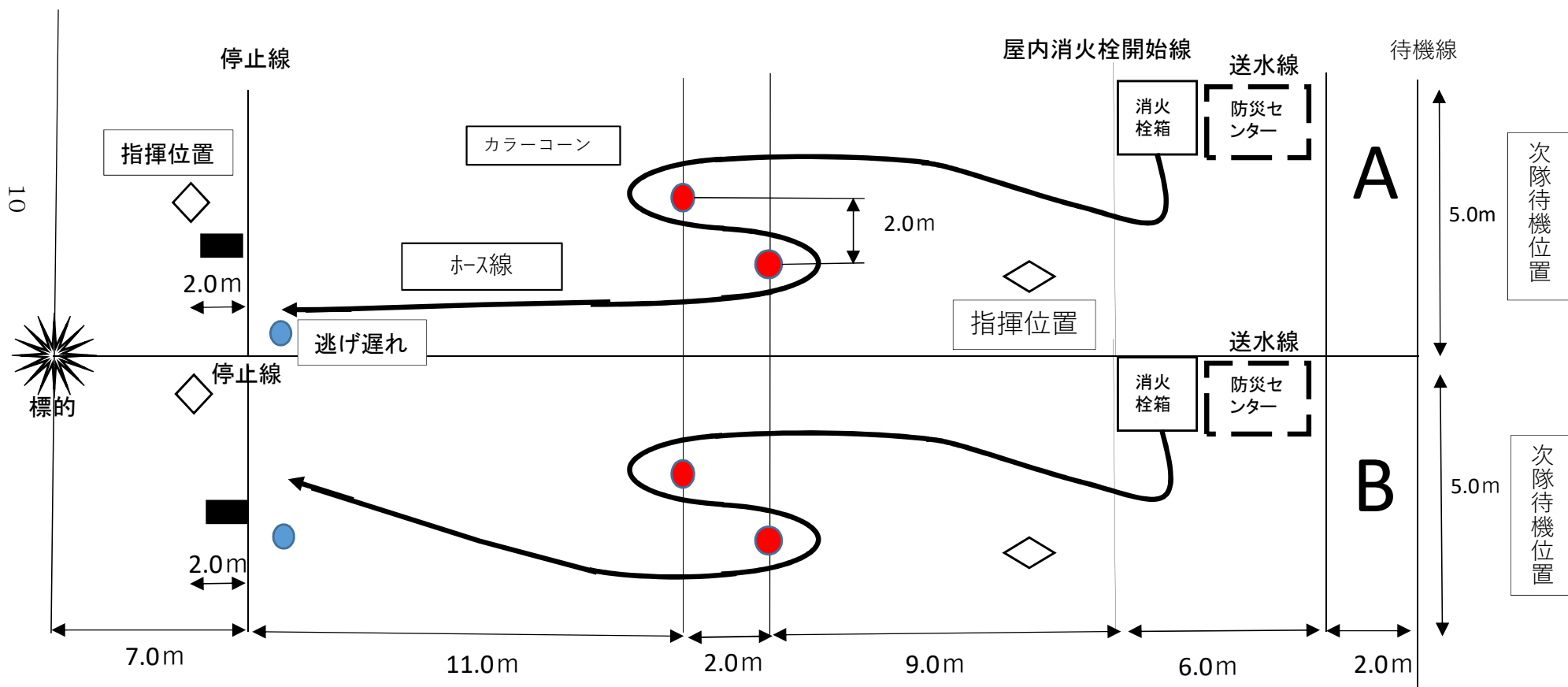
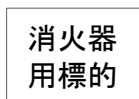
エ 合計タイムが早かったもの

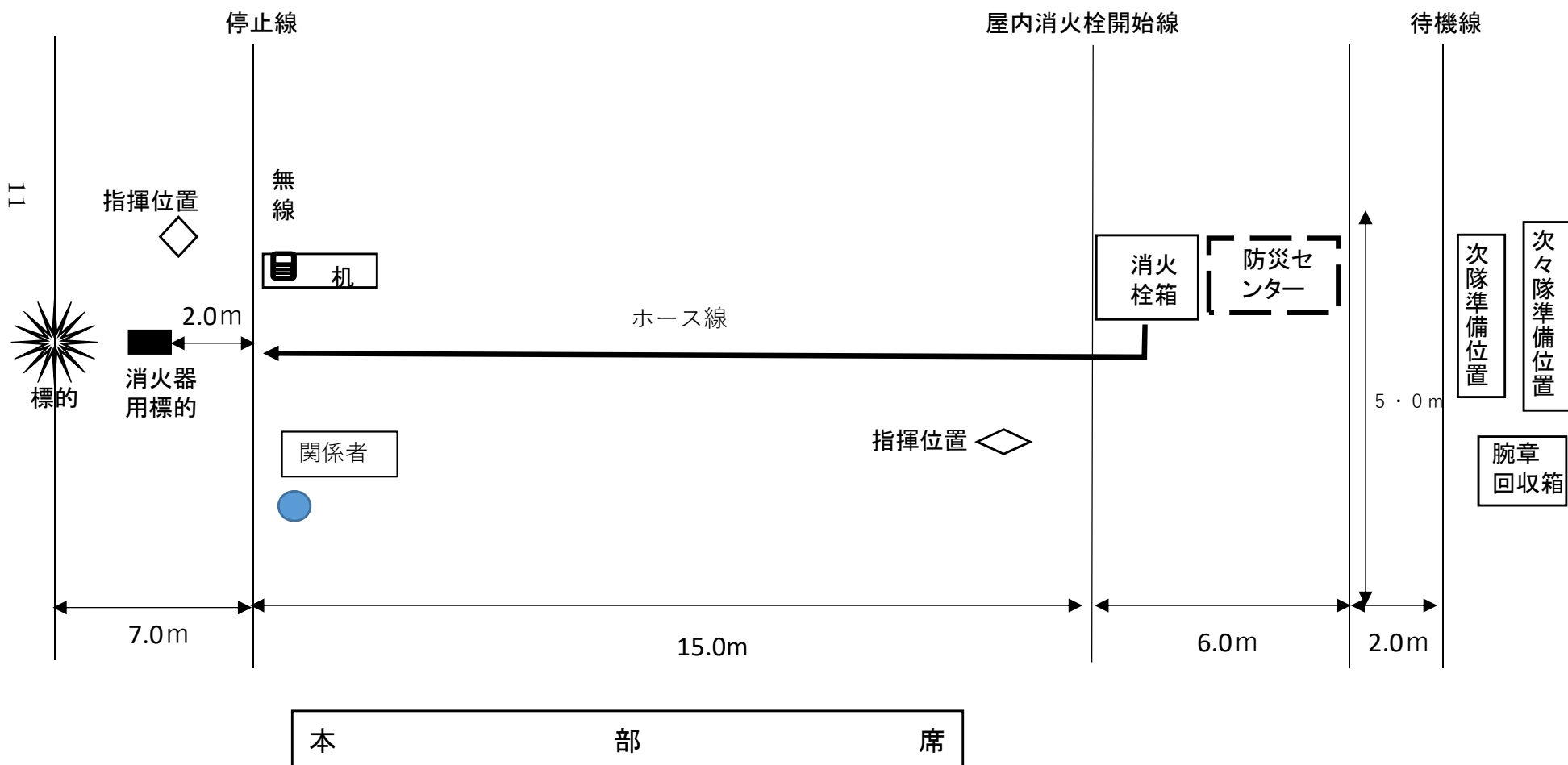
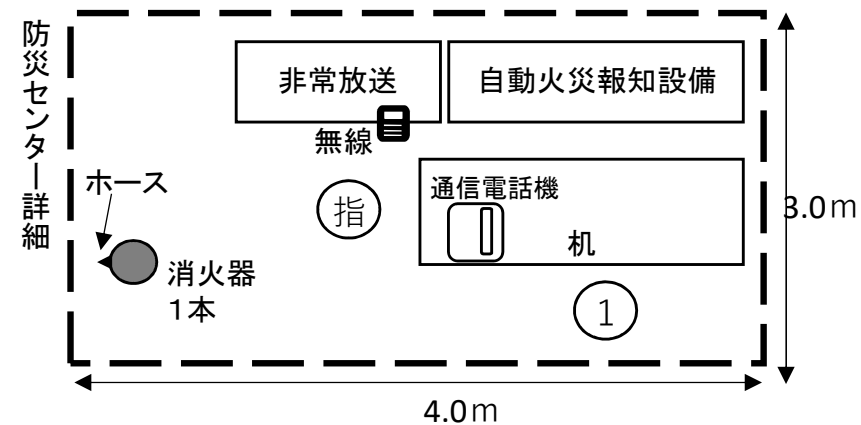
- (3) 前(2)により決定しない場合は、審査長が全体評価（チームワーク等）を行い決定します。

7 審査結果の会場内での掲示について

- (1) 審査結果は随時、本部テント裏に掲示していきます。集計及び確認の関係上、数隊まとまり次第、掲示していきます。

- (2) 掲示される内容は、合計得点及びタイムとします。





参考：実施順序の流れ

防災センター

A

実施隊 1 番目

前の実施隊が終了次第準備する

次隊準備位置

実施隊 3 番目

実施隊 5 番目

実施隊 7 番目

待機位置は 3
隊まで

防災センター

B

実施隊 2 番目

前の実施隊が終了次第準備する

次隊準備位置

実施隊 4 番目

実施隊 6 番目

実施隊 8 番目

別記 1

令和 7 年度自衛消防活動審査会活動隊行動要領【屋内消火栓】

	指揮者	1 番員	2 番員
【火災発生】	審査員の「ベル鳴動」の合図後、全員で起立し		
【受信盤確認】	1、2 番員に対し「ベル鳴動、受信盤確認」と指示	指揮者の「ベル鳴動、受信盤確認」の呼称に対し「よし」と返答する	指揮者の「ベル鳴動、受信盤確認」の呼称に対し「よし」と返答する
	受信盤を指差し確認しながら「 1 階厨房で発報 」と言う。	指揮者に続いて受信盤を指差し確認し「 1 階厨房で発報 」と復唱する。	指揮者に続いて受信盤を指差し確認し「 1 階厨房で発報 」と復唱する。
【現場確認】	1、2 番員に正対し、 「 1・2 番員は消火器を携行し、現場確認と初期消火にあたれ 」と指示する。	指揮者の指示に対し、「よし」と返答し消火器の位置まで移動する。 消火器を持ち「 消火器搬送 」と言い移動する。	指揮者の指示に対し、「よし」と返答し消火器の位置まで移動する。 1 番員の「 消火器搬送 」に対し「よし」と返答し移動する。
【館内放送】	放送設備により館内放送を 2 回実施する。 「只今、1 階の火災感知器が作動しました。係員が確認をしております。次の放送にご注意ください」と 2 回繰り返す。 (マイクを保持し放送する)	消火器搬送中	
【火災発見】	館内放送中	消火器搬送途中、「 逃げ遅れ確認 」と呼称、停止線到着後に消火器を一旦その場に置き、逃げ遅れ(係員)に対し、「 他に逃げ遅れている方はいませんか、歩けますか。私についてきてください 」と声をかけ防災センターまで避難誘導を実施する。(2 番員の報告後とする)	消火器搬送途中 1 番員の「逃げ遅れ確認」を聞き、「 逃げ遅れ確認 」と復唱する。 停止線到着後、消火器を一旦その場に置き、指差し確認をしながら「 火災確認 」という。 1 番員に「 消火器による初期消火を実施する。 」と報告する。
【避難誘導・初期消火】	館内放送終了後は、1・2 番員の向かった方に身体を向け待機する。	2 番員から初期消火の報告が来たら「よし」と追認をする。	「 安全ピンよし 」「 ホースよし 」「 放射 」と言い、初期消火を開始する。放射をやめ、「 1 本目終了 」と言い、消火器を安全なところに倒して置き、1 番員の搬送してきた 2 本目の消火器を使用し、再度初期消火を実施する。 初期消火中、「 誰かいますかー 」と呼びかけな

			がら消火器を放射する。 ・消火器操作時に停止線を越えないこと ・消火器の放射時間は1本15秒とする。
【現場確認報告】	1番員の報告に対して「よし」と返答し、「119番通報せよ」と指示する。	防災センター到着後、逃げ遅れ（係員）に対し「すぐに消防隊を要請します。座ってお待ちください。」と言い、指揮者と正対し 「火災確認、1階厨房が延焼中、現在まで避難誘導1名のほか逃げ遅れはなし。2番員が初期消火を実施中」	初期消火中
【119番通報】 【館内放送】	放送設備により館内放送を2回実施する。 「火事です。1階厨房で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。エレベーターは使用しないでください」と2回繰り返す。 （マイクを保持し放送する） 1番員の報告に対し「よし」と返答する。 2番員の報告に対し「よし」と返答する。	電話機の位置で119番通報を実施する。 番号を押しながら、「119」と言う。 「消防庁、火事ですか、救急ですか」 「火事です。」 「消防隊が向かう住所を教えてください」 「(事業所の住所を教えてください)」 「何が燃えていますか」 「1階の厨房が燃えています。」 「逃げ遅れ、けが人はいますか」 「怪我人が1名発生しています。逃げ遅れは確認中です」 「わかりました、消防車向かいます。」 指揮者への119番通報完了の報告 「119番通報完了」	係員の「消火不能」の合図後、消火器を安全なところへ倒して置き、「消火器による消火不能」と言い、回れ右して指揮者の元へ移動する。 指揮者の元まで移動し、報告 「消火器による消火不能」

【屋内消火栓】	「 屋内消火栓による消火を行う。操作、はじめ 」と号令する。	指揮者の号令に対し「よし」と返答し、屋内消火栓へ向かう。	指揮者の号令に対し「よし」と返答し、屋内消火栓へ向かう。
【消火栓準備】	指揮に便利な位置へ移動し、1・2番員の捜査状況を監視する。 (1・2番員の両者を監視できる位置。 概ね火点側3m前方)	2番員が消火栓扉を開くのを待って、ノズルと第2ホース及び第1ホースの半分を取り出し脇に抱える。 ・第1ホース：放口に結合されたホース ・第2ホース：ノズル側のホース	起動ボタンを押し（ジェスチャーでよい） 「 起動ボタンよし 」という。 指差し呼称により周囲を確認し、「 周囲よし 」と言い、その後「 扉開放 」と言い消火栓扉を開く。
【ホース延長】	2番員の「 確保よし 」を待って1番員に先行し火点標的へ向かう。	2番員の「 確保よし 」を待って、「 ホース延長 」といって火点に向けホースを延長する。 (途中2回のクランクあり)	1番員のホース取り出しを待って、第1ホースの放口側半分を取り出す。 ホースの内側に入って余裕ホースを腰にとり、1番員の状況をみて「 確保よし 」と言う。 ・ホースは必ず腰に当て、ひっぱりを防止する姿勢をとる
【放水開始】	指揮に便利な位置（概ね停止線から右前方2mの位置）で1番員を待つ。	第2結合部まで延長した時点（結合部が地面に着地した時点）で2番員に対し「 放水はじめ 」と指示する。（後ろは振り向かない）	1番員の「 放水はじめ 」に対し「 放水はじめ 」と復唱し、「 バルブ開放 」と言いバルブを全開にした後、指揮者に向きを変え、右手を上げ「 バルブ開放よし 」という。
【注水】	停止線を指差し、1番員に対し「 止まれ 」と指示する。 指示後、標的に正対する。標的が倒れたのを確認したら、大きく“左向け左”の動作をとり1・2番員の補助の姿勢を確認する。	指揮者の「 止まれ 」の指示で停止し、余ったホースを横に投げ注水姿勢をとりノズルを全開にして注水し、標的を倒す。	バルブ解放後、ホース線を辿って1番員のもとに向かい第2結合部で一度止まり、「 結合部よし 」という。 1番員に相対する側1歩後方の位置でホースを持って「 確保よし 」と言い注水を補助する。

【放水停止】	標的が倒れた（タイム測定終了）こと及び2番員が注水姿勢の補助をしたことを確認した時点で、右手を水平に挙げ「放水止め」と号令する。	指揮者の号令に対し「放水やめ」と復唱しノズルを閉鎖する。 2番員の「バブル閉鎖よし」を待って、45度程度下にノズルを傾け開放し、ホースの中を排水した後、ノズルを閉鎖する。 筒先の先端を右手で持ち、左足を引き付けて姿勢を正す。	1番員の「放水止め」の復唱に対し、「よし」と返答し消火栓ボックスへ向かい、「バブル閉鎖」と言いバルブを閉めた後「バブル閉鎖よし」と言う。 起動ボタンを戻し（ジェスチャーでよい）「起動ボタンよし」という。 1番員の方向を向き、右手を水平に挙げ「消火栓放水止め」と言った後、“気を付け”の姿勢をとる。
【収納】	1・2番員の姿勢を確認後、「消火栓収め」と号令し1番員とともに屋内消火栓の開始線前方2mの指揮位置に駆け足で戻る。	指揮者の号令に対し「よし」と返答し手元のホースを折り曲げて筒先をホースの上に置き、指揮者とともに屋内消火栓の開始線に移動し、2番員とともに“気を付け”の姿勢で待機する。	指揮者の号令に対し「よし」と返答し、屋内消火栓の開始線に移動する。 (ホースの結合部は外さない)
【点検報告】	「点検報告」と号令し、異常の有無の報告を1・2番員から受け、その都度「よし」と返答する。	指揮者の号令に対し「1番員異常なし」と報告する。(指揮者の顔を見ながら)	指揮者の号令に対し「2番員異常なし」と報告する。(指揮者の顔を見ながら)
【撤収】	2番員まで異常のないことを確認したら、「別れ」の号令をかける。 1・2番員の挙手敬礼を確認後指揮者も挙手敬礼を行い手を下ろす。	指揮者の「別れ」の号令で挙手敬礼を行う。 指揮者が挙手敬礼をし、手を下ろしたのち直ちに手を下ろす。	指揮者の「別れ」の号令で挙手敬礼を行う。 指揮者が挙手敬礼をし、手を下ろしたのち直ちに手を下ろす。
適宜、ノズル、ホース結合部を外し撤収位置に速やかにホース等を搬送する。			

別記 2

令和 7 年度自衛消防活動審査会活動隊行動要領【簡易消火栓】

	指揮者	1 番員
【火災発生】	審査員の「ベル鳴動」の合図後、全員で起立し	
【受信盤確認】	1 番員に対し「ベル鳴動、受信盤確認」と指示	指揮者の「ベル鳴動、受信盤確認」の呼称に対し「よし」と返答する
	受信盤を指差し確認しながら「1 階厨房で発報」と言う。	指揮者に続いて受信盤を指差し確認し「1 階厨房で発報」と復唱する。
【現場確認】	1 番員に正対し、 「消火器を携行し、現場確認と初期消火にあたれ」と指示する。	指揮者の指示に対し、「よし」と返答し消火器の位置まで移動する。 消火器を持ち「消火器搬送」と言う。
【館内放送】	放送設備により館内放送を 2 回実施する 「只今、1 階の火災感知器が作動しました。係員が確認しております。次の放送にご注意ください」と 2 回繰り返す。 (マイクを保持し放送する)	消火器搬送中
【火災発見】	館内放送中	搬送中、関係者が初期消火をしているところを確認し「初期消火を確認」と呼称、その後停止線到着後に消火器を一旦その場へ置き、指差し呼称をしながら「火災確認」と言う。 関係者（係員）に対し「他に逃げ遅れた方はいませんか」と言う。関係者（係員）が「いません」と返答したら、「そのまま初期消火を続けてください」と言う。
【現場確認報告】	1 番員の無線報告に対し、無線機を取り「よし」と返答し、「初期消火及び避難誘導を実施せよ」と指示する。	机の位置に移動し、無線機を取り「1 番員から防災センター、火災確認、1 階厨房が延焼中。逃げ遅れは確認中」と言う。指揮者の指示に対し「よし」と返答する。
【119 番通報】 【初期消火】	電話機の位置に移動し 119 番通報を実施する。 番号を押しながら、「119」と言う。 「消防庁、火事ですか、救急ですか」 「火事です。」	関係者（係員）に対し「交替します。そちらでお待ちください」と言う。 「安全ピンよし」「ホースよし」「放射」と言い、初期消火を開始する。 係員の「消火不能」の合図後、消火器を安全なところへ倒して置き、「消火器による消火不能」と言い、関係者（係員）に「避難します。私について」

	「消防隊が向かう住所を教えてください」 「(事業所の住所を教えてください)」 「何が燃えていますか」 「1階の厨房が燃えています。」 「逃げ遅れ、けが人はいますか」 「逃げ遅れ、怪我人は確認中です」 「わかりました、消防車向かいます。」	て来て下さい。」と伝え、防災センターへ移動する。
【館内放送】	放送設備に移動し、館内放送を2回実施する。 「火事です。1階厨房で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。エレベーターは使用しないでください」と2回繰り返す。 (マイクを保持し放送する)	初期消火中
【避難誘導】	1番員の報告に対し「よし」と返答する。	防災センター到着後、関係者(係員)を椅子に座らせた後「すぐに消防隊が到着します。座ってお待ちください。」と言い、指揮者と正対し 「火災確認、1階厨房が延焼中、消火器による消火不能。現在まで避難誘導1名のほか逃げ遅れはなし。」
【消火栓操作開始】	「屋内消火栓による消火を行う。操作はじめ」と号令する。	指揮者の号令に「よし」と返答し屋内消火栓へ向かう。
【延長準備】	指揮に便利な位置へ移動し、1番員の操作状況を監視する。	指差し呼称により周囲を確認し、「周囲よし」と言い、その後「扉開放」と言い消火栓扉を開く。
【放水開始】	1番員の「バルブ開放よし」を待って、1番員に火点の標的へ向かう。	左手でノズルを持ち「バルブ開放」と言い、バルブを全開にした後、「バルブ開放よし」と言う。その後、火点標的へ向きを変え、「ホース延長」と言い火点の標的へ向かう。
	指揮に便利な位置(概ね停止線から右前方2mの位置)で停止線を	指揮者の指示で停止し、注水姿勢を取り「ノズル開放」と言いノズルを全

	指差し、1番員に対し「 止まれ 」と指示する。	開にし「 開放よし 」という。
【注水】	指示後、標的に正対する。	注水し標的を倒す。
【放水停止】	標的が倒れたのを確認したら、大きく「左向け左」の動作をとり1番員の方を向き右手を水平に挙げ「 放水やめ 」と号令する。	指揮者の号令に対し「 放水やめ 」と復唱し、ノズルを閉鎖した後、ノズルをその場に置き「回れ右」の動作をとって消火栓ボックスへ向かい「 バルブ閉鎖 」と言いバルブを閉めた後「 バルブ閉鎖よし 」と言う。 指揮者の方向を向き、右手を水平に挙げ「 消火栓放水止め 」と言った後“気を付け”の姿勢をとる。
【収納】	1番員の姿勢を確認後、「 消火栓収め 」と号令し、屋内消火栓の開始線前方2mの指揮位置に移動する。	指揮者の号令に対し「よし」と返答し、“気を付け”の姿勢で待機する。
【点検報告】	「 点検報告 」と号令し、異常の有無の報告を1番員から受け、「よし」と返答する。	指揮者の号令に対し「 1番員異常なし 」と報告する。(指揮者の顔を見ながら)
	異常のないことを確認したら、 「 別れ 」の号令をかける。 1番員の挙手敬礼を確認後指揮者も挙手敬礼を行い、手を下ろす。	指揮者の「別れ」の号令で挙手敬礼を行う。 指揮者が挙手敬礼をし、手を下ろしたのち直ちに手を下ろす。
【撤収】	係員により行いますのでそのまま退場してください。	

事前訓練

1 実施日

- (1) 令和7年7月22日（火） から 7月25日（金） 各日午前中
- (2) 令和7年8月 4日（月） から 8月 7日（木） 各日終日
- (3) 令和7年8月12日（火） から 8月15日（金） 各日終日
- (4) 令和7年8月18日（月） から 8月20日（水） 各日終日

2 実施時間（全日共通）

午前： 9時30分 から 11時45分 まで

午後： 13時30分 から 15時45分 まで（7月は実施なし）

3 実施場所

新宿消防署裏庭（集合場所：1階防災教室）

新宿区百人町3-29-4

4 訓練日程

新宿消防署ホームページ掲載のとおりです。

5 目的

各事業所における訓練を踏まえ、消防職員の指導のもと、参加隊ごとの行動チェックと修正を行い、完成度を高めることを目的とします。

6 服装

訓練時の服装は、ケガをしにくい服装（長袖、長ズボン、走りやすい靴）としてください。

半袖は受傷する可能性があるため、訓練時は着ないようにしてください。ヘルメット、手袋、

雨天時に備え雨具（カッパ（セパレートタイプ）等）を準備してください。

7 準備資器材（借用申請のあった事業所は除く）

- (1) 内栓一般、内栓警備の各部

ア ホース×2本（口径40mm、長さ15m）

イ 可変式噴霧ノズル×1個

- (2) 簡易一般、簡易警備の部

ホースは消防署で準備しますので、持参する必要はありません。

- (3) 熱中症対策のため、飲料水等を準備してください。

8 その他

- (1) 熱中症予防と受傷事故防止のため、十分な水分補給と入念な準備運動を行ってください。
- (2) 各事業所においても、行動要領の事前研究と自主訓練を行ってください。
- (3) 荒天時や社会的に憂慮される災害等が発生した場合以外は訓練を実施しますので、実施の可否について不明な場合は、消防署へ問い合わせてください。
- (4) 訓練指定日は調整結果のとおりとし、訓練指定日の変更希望は原則お受けできません。
空いている日程は、荒天等で実施できなかった場合の予備日とします。

令和7年度自衛消防活動審査会 事前訓練日程表

	9:30~		10:45~		13:30~		14:45~	
7月22日	アパホテル〈新宿 歌舞伎町タワー〉	新宿ファーストウエスト事業所	アパホテル〈東新宿 歌舞伎町タワー〉					
7月23日								
7月24日			東日本旅客鉄道株式会社 新宿統括センター 乗務ユニット	東京地下鉄株式会社 新宿駅				
7月25日			株式会社ルミネ ルミネエスト店	新宿郵便局				
8月4日	住友不動産新宿ガーデンタワー		株式会社新宿東急ホテルズBELLUSTAR TOKYO	株式会社新宿東急ホテルズHOTEL GROOVESHINJUKU	株式会社小田急SCディベロップメント新宿フラッグス			
8月5日	新宿モノリス	KDDI 新宿ビル	新宿サブナード	新宿高野	東日本旅客鉄道株式会社 新宿統括センター 新宿駅	藤田観光株WHG新宿 新宿ワシントンホテル	エスバス日拓新宿	エステー株式会社 男子
8月6日								
8月7日			東急歌舞伎町タワー	アパホテル〈新宿歌舞伎町中央〉	藤田観光株式会社 ホテルグレイスリー新宿	東京オペラシティビル		
8月12日								
8月13日								
8月14日	東京地下鉄株式会社 高田馬場地域	新宿住友ビル	小田急ビルサービス新宿駅	京王プラザホテルALSO K 常駐警備	新宿三井ビル	JR東日本ステーションサービス新大久保チーム	損害保険ジャパン本社ビル	新宿区役所
8月15日								
8月18日								
8月19日	明宝ビル	NTT 東日本本社ビル	株式会社セノン 新宿ワシントンホテルビル	株東武 新宿区役所	JR東日本ステーションサービス高田馬場ブロック	新宿プリンスホテル	西武鉄道新宿駅管区	アパホテル〈東新宿 合同〉
8月20日	株式会社ルミネ 新宿店	東京都庁	株式会社小田急百貨店	株式会社 京王プラザホテル				

※空欄は、荒天等で訓練が実施できなかった場合の「予備枠」となります。

令和7年6月13日

関係各位

新宿消防署予防課
防火管理係事務局

令和7年度自衛消防活動審査会における熱中症防止対策について

昨年の夏季は、全国の平均気温が気象庁による統計開始以来最高を記録し、東京地方においても年間の猛暑日日数20日、真夏日日数82日となる等、圧倒的な暑さとなりました。

今年の夏季も全国的に気温が高く、猛暑日が増えると予想されていることから、令和7年度自衛消防活動審査会をより安全に実施するためにも下記のとおり事前訓練及び審査会以下、「事前訓練等」という。)において熱中症対策に万全を期して頂きますよう、お願いいたします。

記

1 留意点

- (1) 熱中症の発症には、睡眠、食事、体調等が影響することから、事前訓練等の前日は十分な睡眠時間を確保するとともに、しっかりと食事をとり熱中症対策を図ってください。
- (2) 事前訓練等の訓練実施前に参加隊員の体調を係員が確認します。体調不良や二日酔いなど、体調が万全ではないと申告があった場合や係員が危険と判断した場合には参加を中止する場合がありますので予めご了承ください。
- (3) 事前訓練等においては、各自で飲料水を準備し、適宜水分補給を行い熱中症防止対策を講じてください。
- (4) 待機中は日影等を活用し、長時間炎天下の環境に晒されることのないようにしてください。

2 その他

事前訓練に指定となった日で、体調不良等により事前訓練が実施できない場合については、可能な限り別日で訓練が実施できるよう事務局で再調整を行います。

問合せ先

〔新宿消防署予防課防火管理係 佐野 内堀〕
〔事務局〕03-3371-0119 内線 511 521